（第１号様式）
神奈川県教育委員会教育長　殿

学校教育計画（令和２年度～令和５年度）

学校名	向の岡工業高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・専門学科

１　学校のミッション

全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際的・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

２　学校教育目標

○「ものづくり教育」の充実を図り、将来のスペシャリストの育成をめざして、ものづくりを支える技術力と知識を身に付けさせ、課題解決力の育成を図る。
○「キャリア教育」の充実を図り、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性を持った人材の育成を図る。
○学校内外の機関や企業との協働・連携など地域の教育力や企業力を活用した学校づくりを推進し、地域や保護者から信頼される学校づくりを進める。

３　計画策定時点での課題

○資格試験の合格率は75％を超えているが、さらなる合格率上昇のためには、資格取得の指導時間の確保、指導体制の見直しや再整備を行い、質の向上が必要である。
○生徒が主体的に参加・活動する場面のある授業が、一層求められている。
○生徒指導・支援については、教職員が一体となって指導を行っている。引き続き、ＳＣやＳＳＷと連携しながら、指導の徹底を図っていく必要がある。
○進路指導においては、社会的・職業的自立に資するよう職業観・労働観の育成が求められている。
○地域交流事業は順調に行われているが、参加生徒が達成感を得られるような指導体制を工夫する必要がある。
○全校運動としての６Ｓ運動は浸透しつつあるが、一層生徒主体の取組となるよう支援が必要である。（６Ｓ：整理・整頓・清潔・清掃・躾・安全（safety））
○ＩＣＴを整備し、情報発信に努めているが、生徒のＩＴ環境も様々なため効率的な情報発信とするための工夫が必要である。
○日頃より事故防止に努めているが、私費会計に係る業務が増え、慣れない業務でミスを起こさないように細心の注意を払っている。ミスを起こさないような業務執行体制の構築が求められる。

４　４年間の目標と主な方策

	視点	４年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	・新教育課程において、工業教育の特色を生かし、社会で必要とされる専門性の向上を図る教育課程を提供する。 ・自ら課題を発見し解決する力の育成と主体的に学ぶ意欲の向上を図る。 ・学校行事や生徒会活動を通じ、自他の多様性を尊重させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。	・新教育課程のねらいと目的を明確にして、生徒主体の進路実現に向けた取組を活性化させる。 ・複数の資格取得や上位級の資格取得に取り組ませる。 ・基礎基本の習得や、学習習慣の定着を目指し、組織的な授業改善の取組を強化する。 ・生徒の主体的な取組へのアドバイスや、外部講師等の有効活用を図る。
2	生徒指導・支援	・自己の成長を意識させ、社会人としての基礎力を身に付けさせる。 ・学校行事や部活動を通じて、責任感、協調性、自主性の涵養を図る。	・一人ひとりに応じた生徒指導を展開し、規範意識の醸成と課題解決力の向上を図る。 ・生徒の主体的な活動への支援を通して、学校行事や部活動の活性化を図る。
3	進路指導・支援	・生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導の充実を図る。 ・社会的・職業的自立に資するよう、労働観、職業観を育成する。	・面談等を通じて生徒個々の適性と希望を正確に把握し、適切な指導を行う。 ・外部機関との連携強化によりキャリア教育の充実を図る。
4	地域等との協働	・「地域とともに育つ向工」を実現し、「地域で活躍する向工生」を育むために、地域社会との連携による教育活動を推進する。	・学校の施設、設備をイベント等で積極的に活用し、地域に向けて広報活動を展開する。 ・地域企業等と連携したものづくり教育機会の拡大を図る。
5	学校管理 学校運営	・校内の情報機器の整備と防災教育を推し進め、安全安心な教育環境を構築する。 ・全ての職員の資質向上を図るとともに、風通しの良い職場づくりをめざし、教職員の事故不祥事を未然に防止する。	・生徒や保護者への情報発信について整理し、安全教育、環境教育の推進を図る。 ・会計処理や不祥事防止など職員が主体的に参加できるような職員による相互研修会を開催する。